

尼崎市総合計画審議会第2回市民部会を開催しました

日時：令和2年11月26日（木）18時30分～20時30分 場所：尼崎市役所 議会棟2階 議員総会室

～次第～

- 1 開会
- 2 「尼崎らしさ」（良い点・悪い点）の整理 ～ワークショップ形式～
- 3 閉会



■ 市民部会開催の趣旨 ■

本市のまちづくりの方向性を示す第5次尼崎市総合計画は、2022年度までの計画であり、現在、2023年度からを計画年度とする第6次尼崎市総合計画の策定に着手しています。

この度、都市の将来像やまちづくりの進め方などを定める「まちづくり構想」の策定にあたり、学識経験者の部会長と市民委員で組織する市民部会（7名）を立ち上げ、「尼崎らしさ」などについて議論を行うこととしています。

1 内容（第2回）

第2回目は、11月18日に尼崎市総合計画審議会委員の希望者で実施した歴史博物館見学会に参加された方の感想等、事務局よりデータから見た尼崎市の現状について共有した。

その後、第1回目に整理を行った委員それぞれが感じる尼崎の良い点、悪い点についてグループに分かれて共有を行い、グループごとにその内容をまとめた。

2 意見概要

	意見
グループ①	プラスの意見（今後も活用、継承していく視点） ・ 暮らし方が選べる/便利だから自分の時間を作れる ・ 環境意識が高い ・ 下町気質 ・ 個性的な人が多い ・ 多様性 ・ 歴史がある ・ 学びの充実/市民活動が盛ん/イベントが多い ・ 利便性がある（自転車ですべて行ける/商業施設が多い） ・ 好きなように（自分らしく） ・ ギャップが生まれる ・ 笑いに変える

	意見
グループ①	マイナスの意見（解決していく、なくしていく、備えていく視点） ・マナーの悪さ ・イメージの悪さ ・発信力不足 ・自虐 ・学びへの参加者が少ない ・洪水の危険性（海拔0m）
グループ②	プラスの意見（今後も活用、継承していく視点） ・治安、マナーが向上してきた（ひったくり、放置自転車の激減） ・多様性を受け入れるまち（外国人や他地域出身の人が多い） ・人情味がある ・中小企業が多い ・歴史があるまち ・まちづくりを「言語化」している（自治条例での「シチズンシップ」） ・自然が豊か（本来あるものに加え、21世紀の森づくりなど） ・学びの環境が整っている/学びの機会が多い ・利便性が高い（職住近接、自転車での移動） ・（市外の人から見て）チャレンジできるまち（市民活動など） ・市民活動が活発（でもまだ一部） マイナスの意見（解決していく、なくしていく、備えていく視点） ・まちのイメージが悪い（悪いニュース） ・治安、マナーが悪い/まちの景観が悪い（ポイ捨て、不法投棄） ・交通ルールが守れていない（信号無視、自転車の右側通行） ・6地区でばらつきがある（地区によって垣根がある） ・都市部の課題の広がりがはやい（高齢化、ひきこもりなど） ・商店街が多いがさびれている ・大雨の時の内水→災害に対する備えに不安 ・自虐的な人が多い（もっとプライドを持とう）

3 今後の予定

- ・第3回市民部会
（日時）令和2年12月3日（木）18時30分から約2時間程度
（場所）尼崎市役所 議会棟2階 議員総会室
（内容）まちの将来について
- ・第4回市民部会
（日時）令和2年12月18日（金）18時30分から約2時間程度
（場所）尼崎市役所 議会棟2階 議員総会室
（内容）「尼崎らしさ」の実現に向けてできることを考える回

4 当日のようす



←ワークショップのようす①

- ・ワークショップの進め方について、部会長より説明

→ワークショップのようす②

- ・歴史博物館を見学した委員より、特に印象に残ったことなど感想を共有し、意見交換に活用



↓ワークショップのようす③ ・グループワークによる意見交換



以 上